

支援団体の職員向けの研修

平成 28 年度

「支援団体統括者セミナー」（公益社団法人 日本医師会へ委託）

医療事故調査を行うにあたっての知識及び技能の習得に加え、医療事故調査制度を牽引する各地域の統括リーダーを育成し、標準的な考え方や調査方法が各地域で波及することを目的とした研修。

（開催日）

【前期】平成 28 年 12 月 7 日（東京）

【後期】平成 29 年 2 月 23 日（東京）

前期カリキュラム及び講師

10:00～10:10	開講挨拶	横倉 義武（日本医師会会長）
10:10～10:30	医療事故調査制度の概要	名越 究（厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室長）
10:30～11:30	医療事故報告における判断 ①演習	山口 徹（日本医療安全調査機構顧問） 宮田 哲郎（山王メディカルセンター 血管病センター長）
11:30～11:50	医療事故報告における判断 ②講義	木村 壯介（日本医療安全調査機構常務理事）
12:50～13:40	初期対応と情報の収集・整理	南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部長）
13:40～14:30	院内調査の方法と調査結果報告書のまとめ方	長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副院長）
14:30～15:20	支援団体の支援のあり方・具体的内容について	上野 道雄（福岡県医師会 副会長）
15:30～17:00	演習 調査報告書をレビューする	上野 道雄／宮田 哲郎／南須原 康行／長尾 能雅／ 山口 徹／木村 壯介
17:00～17:20	質疑応答、まとめ	
	次回に向けた課題の説明	上野 道雄／宮田 哲郎 他
17:20～17:30	閉講挨拶	今村 定臣（日本医師会常任理事）

受講者：医師（都道府県医師会担当役員）43名、医師（基幹病院等代表者）43名、
看護師（地域看護職担当者）42名、計 128名
アンケート：講義・演習の理解度及び有用度

後期カリキュラム及び講師

13:00～13:05	開講挨拶	今村 定臣（日本医師会常任理事）
13:05～13:15	導入	上野 道雄（福岡県医師会 副会長）
13:15～14:00	《演習1》事実の確認／臨床経過のまとめ方	南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部長）
14:00～15:00	《演習2》事例の分析SGD（small group discussion）	宮田 哲郎（山王メディカルセンター 血管病センター長）
15:10～16:00	《討議1》事例1の分析	上野 道雄（福岡県医師会 副会長）
16:00～16:50	《討議2》事例2の分析	長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副院長）
16:50～17:10	まとめ	山口 徹（日本医療安全調査機構顧問）他
17:10～17:20	ワークブックについて	木村 壯介（日本医療安全調査機構常務理事）
17:20～17:30	閉講挨拶	今村 定臣（日本医師会常任理事）

受講者：医師（都道府県医師会担当役員）43名、医師（基幹病院等代表者）43名、
看護師（地域看護職担当者）42名、計 128名

アンケート：講義・演習の理解度及び有用度